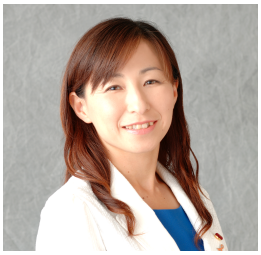
討議資料

※この「わかば」はすべて自己負担にて発行しており、政務活動費は一切使用しておりません。
裾野市議会では、政務活動費は会派に対して交付され、議員の個人活動には充当できない規則となっております。

無所属★市民派



かも博美後援会　会報誌　わかば

No. 38
2020.7

裾野市議会議員
かも　ひろみ
賀茂　博美

裾野市伊豆島田 230-4
TEL・FAX：993-1876

《 ご挨拶 》　ご要望、ご相談、ご意見等ありましたら、お気軽にお声掛けください！

政府の緊急事態宣言が５月 25 日に解除されましたが、新型コロナウィルス感染症の完全終息は先の見えない状況が続いています。今後は段階的に社会経済の活動レベルを上げるため、新しい生活様式を定着させ、感染症拡大防止に配慮しつつ経済再生の両立が図られるとされています。世界経済はもちろん、裾野市の企業・地域経済への影響もリーマンショック以上ではないかと懸念され、今後の市政運営、市民生活にも大きな影響があるものと思われます。

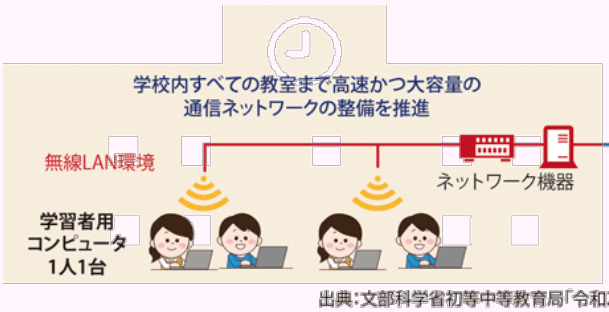
引き続き、手洗いや咳エチケットに心掛け、引き続き感染拡大予防に努めていきましょう。

令和2年６月定例会補正予算（第4、5、6回）

６月定例会ではコロナ関連の補正予算が多く上程されました。新型コロナウィルス感染症に対する市の対策・支援については次ページ以降でお知らせし、ここではその他の補正内容についてお伝えします。

小中学校校内ネットワーク整備事業（3 億 1009 万円）

「GIGA（ギガ）スクール構想」とは



出典：文部科学省初等中等教育局「令和2年度概算要求主要事項」より作成

児童生徒に一人一台端末と高速大容量の通信ネットワークを整備しＩＣＴ教育を進めていくものです。

当初、国は 2023 年までの整備を目指していましたが、予定を大幅に前倒し、今年度中の小中学校 100％整備を目指す方針へと転換しました。

さらに、国はコロナ禍の臨時休校を経験し、学びの保障が必要であることから、緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備費も計上しました。

裾野市における今回の補正予算３億円１千万円は市内小中学校学校への高速大容量ネットワーク（動画をストレスなく見られる通信環境）整備に対する補正予算です。

今年度中に端末（タブレットまたはパソコン）整備の補正予算も計上されると見込まれます。

新型コロナウィルス感染症に対する裾野市の支援・対策

総額　約3億5606万円

感染拡大防止（2,650万円）

○市費　☆県費または国費

○バス・タクシー感染拡大支援への補助金（100万円）
市内路線バス事業者、市内タクシー事業者の感染症対策物資の購入補助

○赤十字病院の医療機器整備への補助金（1000万円）
院内感染防止、患者受入への物資の購入

○庁舎用に感染拡大予防物資の購入（150万円）
来庁者や職員への感染を防ぐための物資の購入

○感染症対策物資の補充（1,400万円）
マスク・消毒液の不足する医療機関へ配布、市の備蓄
学校への非接触体温計等の購入

☆避難所における感染症拡大防止対策のための物資購入（810万円）（県費1/2）
避難所を開設した際の感染症対策に必要な物資を県の補助金を活用して整備

○妊産婦へのマスク配布（1万8千円）
一人20枚　妊産婦350人×20枚＝7,000枚を配布

○小中学生用フェイスシールド購入（92万円）

○小中学校のトイレ清掃委託（744万円）
トイレでの感染リスクを抑制するため
一定期間、専門業者へ委託

○医療機関へのマスク・消毒液の配布（0円）

○こころの健康相談（0円）

○パパ・ママのための健康管理チェック表をWEB公開（0円）

○おうちでできる子どもの身長・体重測定の方法をWEB公開（0円）

○公立幼稚園・保育園へ空気清浄機、電解水生成装置の購入等（802万円）

○学校給食の再開にあたり消毒機材、衛生関係消耗品の購入（75万円）

○図書館の貸出期間延長・WEB等での貸出予約受付（0円）

○運動不足解消のためのすそのん体操の公開（0円）

YouTube「すそのん 体操」で検索！

雇用維持・事業継続（6,334 万円）

○中小企業者が融資を受けた際の当初３年間の利子の一部補助（1,500 万円）
静岡県の制度と合わせ中小企業の利子は実質 0.5 %（３年間）

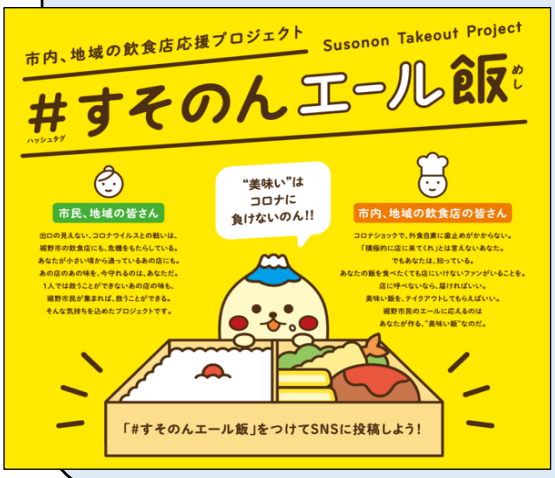
○持続化給付金の申請方法に関する相談（０円）

○休業要請に応じた市内飲食店・宿泊事業者への協力金（4,000 万円）
感染者の拡大を助長する事業者が４月 27 日から５月６日まで休業要請に対し協力した場合 20 万円交付（5 月 29 日／140 件 2800 万円で受付終了）

○登園自粛要請を実施した私立保育所等に対し経営負担軽減の協力金（94 万円）

○企業等から採用の内定を取り消された方、雇い止めにあった方を雇用（740 万円）

○すそのんエール飯　飲食店などのテイクアウト情報発信（０円）
市内飲食店のテイクアウト情報などを発信するプロジェクト



経済回復（2 億 6,621 万円）

○市費　☆県費または国費

○プレミアム商品券販売事業（２億 6,621 万円）
１セット 15,000 円分（500 円券×30 枚）の商品券を 10,000 円で販売
一世帯につき２セットまで購入可能、経済効果は６億６千万円の見込み
※取扱店には登録が必要です。登録期間Ｒ２年６月 22 日から 10 月 15 日まで、WEB、FAX、窓口で登録できます。取扱店登録は市ＨＰをご覧ください。

市民の皆さんが商品券を購入する方法は↓↓↓

☆特別定額給付金（一人 10 万円の給付）（52 億円）（全額国費）
☆子育て世帯への臨時特別給付金（7,273 万円）（全額国費）

全国議長会より議員 10 年表彰

この度、議員としての活動期間が 10 年を経過し、全国議長会、東海議長会より表彰状をいただきました。

表彰していただくことに欣喜雀躍の思いはありませんが、これまでご支援、ご指導いただいた皆様方の支えがあってこその 10 年であり、皆様方には心より感謝の気持ちを申し上げます。

これからも初心を忘れず、市民目線、市民感覚で市政に携わってまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

深良用水通水350周年

1670 年に完成した深良用水は、2014 年 9 月 16 日に世界かんがい施設遺産として登録され、2020 年 4 月 25 日に通水 350 周年を迎えました。

深良用水は、裾野市をはじめ御殿場市、長泉町、清水町の 2 市 2 町に及ぶ地域の、米作りを中心とした農業に欠くことのできない用水として、人々によって守られ長い歴史を刻み、今日に至っています。

この度、通水３５０周年を迎えるにあたり、静岡県芦湖水利組合（裾野市・長泉町・清水町・御殿場市）により、深良用水のあらましや、深良用水を語るに当たり、注目すべき行事の紹介などを簡潔にまとめた通水 350 周年記念動画が作成されました。

また、裾野市民文化センター２階展示室では、特別展が開催されています。

この機会に深良用水の歴史にぜひ触れてみてください。

裾野市 HP より閲覧可能

編集後記

新型コロナウィルス感染症により、日常の生活が大きく変わりました。新しい生活様式は人とのコミュニティ活動のスタイルも大きく変えるものとなっています。しかし、こんな時期だからこそ、地域のコミュニティを大切にしていきたいですね。

これから暑い季節になりますが、マスク着用による熱中症の危険も懸念されます。人との十分な距離が保てる時はマスクを適時外すなど、感染症対策のみならず、熱中症対策にも十分お気をつけてお過ごしください。

裾野市議会議員　賀茂　博美